

者中島より江口通御越也、彼江口と申川は淀宇治川の流にて、大河漲下り、瀧鳴つて、冷じき様體也、總而昔年より舟渡しにて候也。

〔攝津名所圖會三〕江口渡口○略中

江口村の郷保田中氏に、元龜年中の古牒あり、其文曰、

渡舟之儀、晝夜令馳走之條、當村之事、亂妨狼籍、一切非分除之、若猥儀在之ば、可成敗之狀如件、

元龜元年九月

信長判

江口村

船頭中

〔長柄渡〕  
三國

〔攝津志四〕  
西成郡關梁

〔名柄川渡〕

〔攝津名所圖會三〕長柄川渡口○北長柄  
〔攝津志七〕  
豐島郡關梁

〔三國渡〕

西長島三國邑

〔文德實錄五〕仁壽三年十月戊辰、攝津國奏言、長柄三國兩河、頃年橋梁斷絕、人馬不通、謂准堀江川、置二隻船以通濟渡許之、

〔攝津志四〕  
西成郡關梁

〔名柄川渡〕○中

柏濟在野里村、景行天皇二十七年、日本武尊至難波殺惡神、即此○中、享祿四年六月、島村彈正爲

柏渡